

# 令和5年度 第1回宮崎県立農業大学校外部評価委員会 議事録

令和5年度第1回宮崎県立農業大学校外部評価委員会を開催しましたので、お知らせいたします。

## 会議の概要

### 1. 日時

令和5年7月25日（火）10:00～11:30

### 2. 場所

宮崎県立農業大学校 会議室

### 3. 出席者

- (1) 外部評価委員 8名（10名のうち2名欠席）  
西田和夫委員長、香川憲一委員、黒木覚市委員、坂本康子委員、爰野敬典委員、高橋寛委員、濱本明俊委員、馬場勝委員
- (2) 県立農業大学校職員 11名  
校長、副校長（総括）、副校長（教育）、総務課副主幹、農学科長、農学科教授、畜産学科長、畜産学科教授、教務学生課准教授（2名）、教務学生課主任技師

### 4. 議事の内容

【説明】 学校概要及び新教育計画等について（校長及び事務局より）

【協議】 本年度の学校経営方針及び評価項目について

→協議の結果、①評価項目を整理した上で、取組内容における昨年度との違いを明確に示してほしい、②評価方法を変更するならば、その理由や考え方等も含め具体的に示してほしいといった意見があったことから、これらの点について整理した上で、次回の外部評価委員会（来年2月予定）で評価をいただくこととなった。

### 5. 要旨（委員からの主な意見）

- (1) 評価項目や評価方法について
  - ・評価項目を整理した上で、取組内容における昨年度との違いを明確に示してほしい。
  - ・評価方法を変更するならば、その理由や考え方等も含め具体的に示してほしい。
- (2) 学生確保や教育内容、資格取得について
  - ・全国農業大学校同窓会の中で、どこも入学率が低いという話があったが、宮崎は100%近くある。オープンキャンパスや高校との連携（高大連携）をしっかりと行うとともに、県内外に農業県宮崎という点をPRすることで、農大校に高校生が目を向けるよう頑張ってもらいたい。
  - ・人口減少も著しいことから、定員数65名の確保にあまりとらわれず、本来の目的である農業担い手の育成に重きを置いた方が学校の評価も上がるのではないか。
  - ・学校の教育目標に「経営する力（経営スキル）を育む」とあるが、農業簿記が必須科目でない。コスト管理、自己の経営を見る上でも重要なものであり必須科目とすべきではないか。
  - ・学びの動機付けを行うために、県内の起業者あるいは卒業生の先輩達を招聘し、講演や経験談を語っていただく場をもっと設けていくと良い。
  - ・スキルアップという観点から、3級を持っているなら2級を目指させるなどすべきである。
  - ・資格取得の受験者数や合格率を示すなど、学生が職員の頑張りにどのように応えているか可視化した方が良い。
  - ・ドローンオペレーターの資格取得は、資格取得のメリット等も示しもっとPRした方が良い。